

London
message

倫 敦 通 信

幹 事 内務書記官 佐 上 信 一

一、英國の道路問題

英國の道路問題は目下自動車の普及發達と、戦後失業者救濟の必要とに依り、毎日新聞紙上を賑はし居候、政府は近く全國に對して、必要なる道路工事は、此の機會に於て之を遂行すべく勸誘し、其の工費の半額は、國庫より之を補助すべき旨を聲明し、之と同時にデリイメール社は、ロンドンに自動車展覽會を開催して、一層其の氣勢を煽り居候。政府は自働車の増加に伴ひ、之より得る車稅收入一年一千萬磅に達しつゝある狀況にして、之は總て全國道路の改良に使用するの決心を有するのみならず、道路々線の整理を完成せる曉に於ては、本財源の五十%は主要道路の維持修繕に、

二十五%は第二等道路の費用に充當する計畫あり、各地方に於ては、最も熱心に道路の新設に必要な經費として、一ヶ年百萬磅を充當せざる可らざることを要求致居候。而して英國の國費及地方費を以て、支辨する道路費を合算するときは、現在一ヶ年約四千萬磅に達しつゝある狀況なるを以て、失業者救濟の爲にする道路工事の施行を觀るに至らば、尙此以外に多少増加を來すべきに依り、明年度以降に於ける英國道路費の全體は、更に一層の數字を示すに至らんかと存候、然るに道路工事實施の勧誘を受けたる地方團體は、自己の經費充分ならざると、道路の如き一般利用性を有する國家的設備は、一層國家の助力を期待すべく、決して半額の國庫補助に甘んずる能はずして、七十五%の補助を要求せんとの聲、次第に高まり、既にロンドン選出の代議士はカウタイヤーやポローの代表者と、數回の會合を重ね、其の希望の達成に努力しつゝあるの狀態は、英國も日本と殆ど其の軌を一に致居候。

二、ロンドンの道路改良事業

然れどもロンドン市今日の現狀に於ては、事業の實施は一日を空うすることを許さざるを以て、市の東西を貫通する主要道路の一なるオックス、フォード、ストリートに對しては、根本的の改造工事を施行し、道幅を擴張し、更に從來の基礎工を撤去して、十八時のコンクリートの基礎を置き、木材を以て鋪裝する工事の最中に有之候、比田氏(内務省土木局第二技術課長)とも屢現狀を視察致候、同氏の言に依れば、ロンドンに於ては、先づコンクリートの基礎を置き、其上に木片を並べ、更にアスファルトを流し込み、尙木片の上に薄くセメント、コンクリートを施し、更に其工事完成の時は、當分小砂利を其の上に撤き居候、其の後は薄くセメント、コンクリートを施すが爲め、木材のクレオソートを長く保存するの利益ありと、事技術に關し、小生は其の是非を知らざれども參考の爲同氏の意見を自分の聽きたるまゝ申述べ置き候、ロンドンの道路の基礎は厚きに過ぐるの感あるも、蒸氣動力車が、二車を聯絡してドン

ドン響を立て乍ら街上を走りつゝあるの實際交通の現状よりすれば、それも必要ありての事ならんかと被考候、オックス、フォード、ストリートの舊構造は、石の舗装に有之候處、ロンドン市の方針としては市内は總て木のブロックに改むるとの事を聞及候。

三、路面改良と地下埋設物工事

東京で地下埋設物と舗装との關係に付問題有之候處、ロンドンにても同一にして立派なる舗装を市内各所に於て地下埋設物施設の爲驚口にて破壊致居候、職工長と覺しき者を捉へて、「随分亂暴ではないか」と質問致候處、「古い都會では致方がない」と答へ、且曰く、「必要な工事なら道路を叩き破つてもよいではないか」と申居候、先日もウエスト、ミンスターの角にて道路工事を實施しつゝありし職人に、「道路を掘り開いて又埋戻しをして新舊路面の接續個所が破壊の原因となる事はないか」と質問致候處「否な／＼それこそ己等の腕前だよ」と氣焔半分の返事を得申候、實際

そんなものかと得心致候、爲念、オックス、フォード街の道路改造事業は中々の大仕掛に有之、市役所にて之に關する詳細の材料を得候に付後日詳報可致候。

四、事業執行の迅速

右工事に關し特に小生の意を強うせしは、勞働問題の盛なる英國に於て、又日曜日に働くことを以て神に對する反逆なりと心得居る英國民に於て、必要なる道路の工事丈は晝も夜もあらばこそ、土曜日でも、日曜日でも、殆ど晝夜兼行の有様を以て、其工事の完成に努力致居候現狀を、東京市内の夫れに比すれば、假設工事に等しき、軌道の改造工事を、交通上晝はいかぬ、夜やれと言ひ、施工上夜はいかぬ、晝やれとか、下らぬことに悠々長日月を消費しなかく、完成を見ざりし小生出發前の狀況に想到して、其の差宵壞も嘗ならずと存候。

五、倫敦の道路改良針畫

倫敦は郡部會及市部會に於て、既に道路改良に必要なる資源は總て公債に依り、其

の事業を遂行することを議決し、前記牛津街の外、(1)、ハックネイよりソムフォードに達する東部街路、(2)、ゴールデンハムよりチエスハントに達するニユーチャムブリツヂ街路、(3)、エドモントンよりライテシに達する北部環状道路、(4)、イーストハムよりデーゼンハムに達する道路も計畫し、政府の補助を得て、之が財源の一部に充當せんと致居候。

六、労働組合と道路改良問題

例のトレードユニオンの連中は、政府が失業者救済の目的を以て計畫せる、道路改良及住宅建築の二大事業中、住宅建築には、多少の反対意見を有するもの、如く、爲に政府も、其の意見を決し兼ね居候、新聞紙の傳ふる所に依れば、政府は或は住宅建築に伴ふ、道路の新設工事等は、先づ之を住宅計畫より引離して、道路工事として、其の方の費用の一部より之を道路費中に加へ、事業を實行するに至らんかと被存候、過日衛生省を訪問致候處、之と大體同一の意嚮を有するらしく察せられ候、

道路に對しては例の勞働者側の三角同盟の一角の牛耳を握れる代議士トーマス氏も其の近著ホエン、レーバー、ルールス中に道路の國有を絶叫致居候より見れば、別に反對ある理由は無之を當然と存候、英國の道路制度は、なか／＼面白く、研究に値致候、唯民間の著述少く、政府の出版物に依るの外、好資料を得難きを遺憾と致居候、何れ纏り次第追報可致候、(トーマスガ道路國有を叫べるは尙英國に私道多きを嘆けるものと存候)

七、ロンドンの自動車増加率

ロンドンを始め、英國全體に亘りて、道路の改良に關する機運の著しきは、既に述べたる如くに御座候、ロンドンの都市計畫事業と言へば、道路の外目下殆ど他に言ふべき事業なきの有様に有之候、(併し住宅の不足緩和の爲、公債を募集して長屋の建築を爲し居候へ共、之は都市計畫事業の一部には無之候)而して其の原因の一は既に述べたる如く、自働車の發達に存すること疑ふ餘地無之候、今ロンドン市の本

年七月初より九月末日に至る、三ヶ月間に於ける自動車増加の状態を示せば、次の如きものに候。

	七月 - 九月未迄の三ヶ月間の個數(増加)	從來の分 七月末日現計數
輕自動車	の登録數 6,663	147,617
重自動車	の " 1,215	12,721
モーターサイクル	の " 4,843	22,554
		256,690
		86,519

三ヶ月間に一萬二千七百二十一臺の増加は、之を米國の諸都市に比すべくもあらざれ共、倫敦が道路改良の爲に、巨額の費用を投ずるは、誠に理由ありと言ふべく候。

八、英國の道路整理問題

英國が道路の爲巨額の費用を投下して、道路の改良を計畫し、且之を實行しつつあるは、既に述べたるが如くに候へ共、道路改良上の一大障害は道路管理權の所在が不明瞭にして、道路利用の現況が費用負擔團體の利害關係と合致せざるに在り、即

現在交通上の價值に於て、一等道路と見做されたるものにして、尙下級團體の負擔に屬するもの尠からざるのみならず、上級團體と利害の關係を一にせざる道路の費用を上級團體に於て負擔せるもの多きことに御座候、今實例を以て之を説明せん、ロンドン市以外に於てインゲランド及ウエールス内に於ける道路の總延長は、府縣の維持に屬するもの、二萬七千八百七十九哩にして六十一府縣に分屬し、市町村の維持に屬するもの、十一萬千八百八十四哩にして、一千七百二十七町村に分屬するを以て、總計十三萬九千七百六十九哩の道路が、千八百六十の團體に分屬するの結果を生ずべく、一例を挙げれば倫敦の中心たるチャールソング、クロスを中心とする十五哩以内の道路は、約九十の異なる地方團體に分屬し、單に五十哩の延長を有するに過ぎざる。短區間の主要道路が、尙十數個の異なる地方團體に分屬するの現状なるを以て、數年前府縣聯合協議會の道路委員會は、道路の等級を定め、其整理を爲すにあらずんば、道路の經濟的經營は得て之を望む可らずと爲し、其の意見

を政府に申達し、政府に於ても既に其の必要を認め、道路局をして其調査に當らしめ、道路局は交通の現状を基礎として其の等級を分たんとせしが、會々大戰の勃發に際會し、爲に此の大事業を中止して、適當の時機を待つゝの止むなきに至り、今も尙舊制度を維持しつゝあり、而して政府は從來獨立せし道路部を昨年法律に依り交通省内の一局となし、此の局をして大に道路整理の巨腕を揮はしめんとして、今や其の調査進行中なりと聞く、政府の道路改良の施設の計畫の樹立は、一層道路整理實現の日を速かならしむべく豫想せらるゝも、此の點丈は日本が英國に先鞭を着けたりと申すべきも、道路の實質に至りては、殆ど天地の相違に御座候、平素は太陽の光と夜の燈火とを反射するロンドンの道路―雨が降ると反つて路面は洗濯せられて奇麗になるロンドンの道路―平素は砂塵を立つる自動車で玄海洋の様なうねりを感じしむる東京市の道路―雨が降ると自動車は世界に稀な形式ばかりの泥除けを附けつゝ、通行人を恨ます東京市の道路―市内目貫の銀座通りて泥濘靴を没する東京

市の道路——之では天と地丈けの相違ては濟まぬかと存候、道路の整理より道路の改良の方が先づ實行せらるゝ所に、英國の偉大さが知られ申候（但財源は前に申せし通大體は借金に有之候）其の偉大なる英國が、道路整理の如き改造事業に惱む所に保守の程が思はれ申候。

九、西部戰場に於ける道路工事

英國の道路につきては、調査すればする丈け、種々の面白き問題有之候爲、片信のよく盡す所には無之、何れ次便には何か一層面白き事を通報可致と存候、本日圖らずも戰時通報局より大戰中に於ける、西部戰場附近の英國軍の、道路築造模様を寫眞せるもの、十五葉入手致候間道路改良會に貸して、道路改良の機運の勃興に資せられ度候、小生が此の寫眞を見て感ぜしことは

(1) 戰地には人品物資の輸送は、汽車を利用し得る部分は、汽車を利用し、其の先は道路を利用して、ステイイムローリを運轉したること

(2) 道路は總て此の目的に適合せしむべく、石敷又は堅木の類を基礎に用ひたる永久又は半永久的の工事たりしこと

(3) 新に道路を築造したるもの少からざるは勿論、既成道路と雖も其の幅員を擴張し、勾配を緩ならしめ、又は路面を鞏固ならしむる工事を爲したること

(4) 道路に用ふる石材の不足せる箇所は、戰場附近に散亂せる、煉瓦等の破片を蒐集して之を利用せること

(5) 軍隊にても正式に道路築造の技術を兵士に教ふること（既に海軍の兵士にして尙西部戦場の道路工事に従事したる者ある由）

(6) 西部戦場にて、道路工事進行中は軍樂隊をして、奏樂せしめ、其の工事の進捗を計りたることあること

失業者中特に出征兵士にして失業者たる者の救濟事業に道路工事を主なるものとせしは相當の理由あることと存候。

倫敦は愈々冬にて毎日例の霧の爲日光を見る事少く候、ケンシントン公園の溜葉樹
風に散つて菊花今や盛に黄白妍を争ひ居候。